

道づくりだより

第40号

2011.6 島根県道づくり調整会議



原山雲海ロードのあじさい(邑南町)

Contents

1. 幡屋農道の整備が始まります! (農地整備課)
2. 本庄福富松江線交差点改良(左折レーン設置)事業
～交差点の渋滞が解消しました～ (道路建設課)
3. 出雲空港の歩道ルーフ整備事業について (港湾空港課)
4. 出雲空港線・出雲空港穴道線の植栽計画が決定しました (道路維持課)
5. 銀の道飛脚プロジェクトがスタート (高速道路推進課)
6. 高速道路の無料化社会実験が一時凍結、
ETC休日特別割引の上限1000円が廃止されました。(高速道路推進課)
7. 出水期における道路の防災対策について (道路維持課)



幡屋農道の整備が始まります

はたや 幡屋農道は、雲南市加茂町砂子原地内の砂子原農道と大東町仁和寺地内の市道
すなごはら 穴道線を結ぶ延長 2,190mの基幹農道で、平成 28 年度の完成を目指し、本年度
にんなし 整備に着手します。



『しまねの農業農村整備すごろく』
キャラクター ドジョウのどうじょ君

地域の営農状況

本地域は、水稻や茶、大豆の栽培が盛んな農業地帯で、堆肥等の有機物施用による土づくり、減化学肥料・減農薬栽培にも先進的に取り組まれています。また、雲南市の米づくりの拠点となるントリーエレベーターが平成22年8月に稼働を開始しており、この施設を活用した更なる農業振興も期待されています。



農道終点付近には大東西部地区県営ほ場整備事業により整備された水田が広がっています（雲南市大東町遠所）



農道起点付近では茶の栽培が盛んです
(雲南市加茂町砂子原)



木次町にある雲南市カントリーエレベーター
(雲南市木次町山方)

期待される効果

現況道路は幅員が3.5m程度と狭く、車輛のすれ違いが困難となっていますが、新たに本農道を整備することにより整備済みの砂子原農道と一体的な農道網が形成され、カンントリーエレベーターや堆肥施設等への輸送に係る時間短縮や効率化による農業生産性の向上が期待されます。

また、国道54号等の幹線道路へのアクセス改善により利便性も向上し、生活環境の改善や地域の活性化も期待されます。

平面図



事業概要

- ・事業名：幡屋地区 地域自主戦略交付金 農地整備事業（通作条件整備）
- ・工期：平成23年度～平成28年度（予定）
- ・事業費：約10億円
- ・延長：2,190m（新設1,640m+改良550m）
- ・幅員：全幅員7.00m、車道幅員5.50m（2車線）

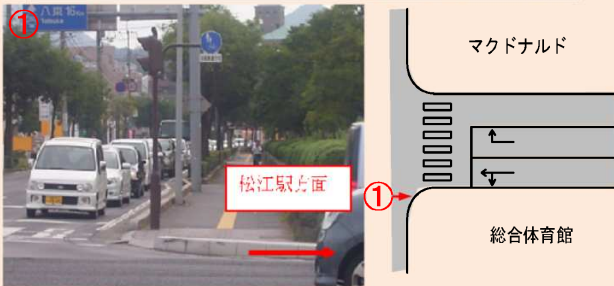
本庄福富松江線交差点改良（左折レーン設置）事業

～ 交差点の渋滞が解消しました ～

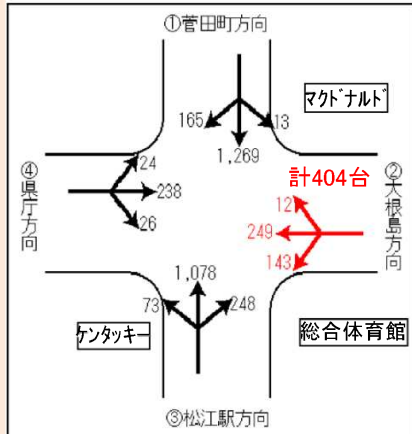
【概要】 県道本庄福富松江線から国道485号（くにびき道路）に出る交差点は、朝夕のラッシュ時、左折できない車両により慢性的な交通渋滞が発生していました。松江県土整備事務所では、この慢性的な渋滞解消のため、この交差点に左折レーンを計画し、平成22年8月に交差点改良工事が完成しました。今回、工事完成後に交通量調査を実施し、事業効果を確認しましたので、その結果を報告します。



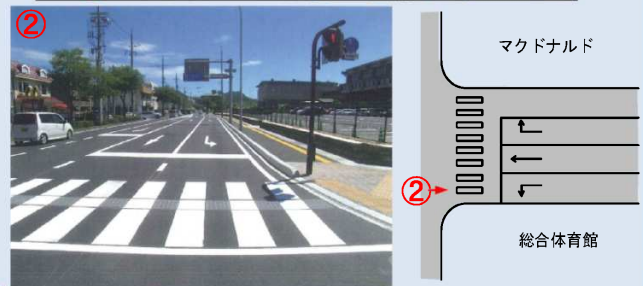
工事前



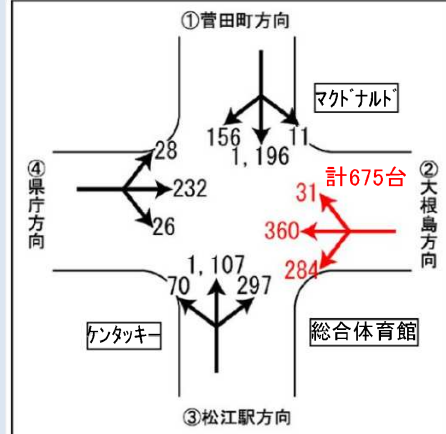
総合体育館前交差点 [朝ピーク時(台/h)]



工事後



総合体育館前交差点 [朝ピーク時(台/h)]



工事

【まとめ】 朝のピーク時、大根島方面からの交通量は約270台/h増加しているものの、滞留長は減少している結果となり、今回の左折車線設置は交差点の渋滞緩和に大きな効果があった。

また、大根島方面からの交通量が増加していることは、隣接交差点の交通量が減少していると考えられ、周辺地域を含めた渋滞緩和にも効果があった。

出雲空港の歩道ルーフ整備事業について

昭和41年に供用開始した出雲空港は、航空需要の増大や高速交通化に対応するため、平成3年、滑走路を2000mに延長しました。滑走路の延長により中型ジェット機の就航が可能になり、旅客数は大幅に増加しました。現在では、年間70万人の方々に利用される空港になりました。

空港の名称も「出雲縁結び空港」と愛称化し、親しみある空港を目指すとともに、空港施設の安全性、利便性の向上に取り組んでいます。

○歩道ルーフ整備事業

出雲縁結び空港は、ターミナルビルから駐車場までの歩道に屋根がないことから、降雨、降雪時及び炎天下時などには、空港利用者に不便を強いていました。また、身障者用駐車場も構内道路を横断しなければならず、施設の利便性や安全性が課題となっていました。

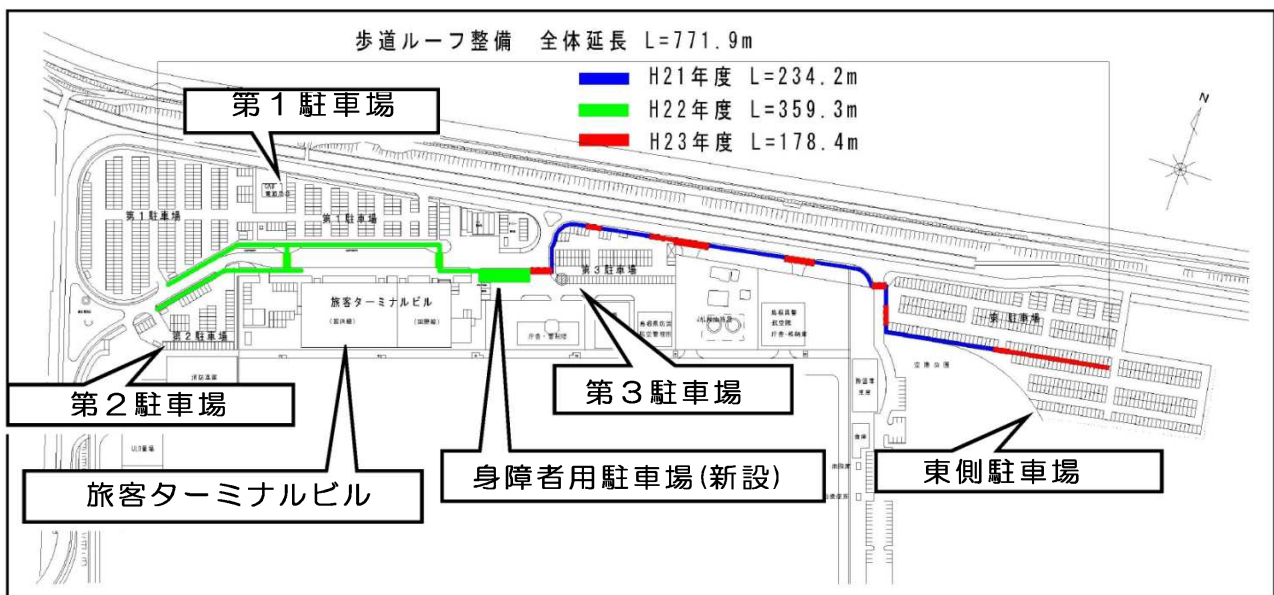
こうした課題を解決するため、空港のバリアフリー事業として歩道ルーフ整備事業を計画し、駐車場までの歩道にルーフを設置するとともに、身障者用駐車場を新たにターミナルビルの隣接部に整備しました。

歩道ルーフ整備事業は、平成21年度にターミナルビルから東側を整備し、平成22年度、ターミナルビルから西側を整備しました。今年度は、構造的に若干大きくなる通路部分を整備し、事業を完了することとしています。

【事業概要】

- 事業主体：島根県
- 事業期間：平成21年度～平成23年度
- 工事延長：L=771.9m
- 総事業費：約3.6億円

(計画平面図)



○整備状況

(ターミナルビル～東側駐車場)

- ・屋根材には県産品である石州瓦や県産木材を使用した。
- ・空港周辺の田園風景や出雲平野の築地松等、周辺の景観に配慮した色彩とした。

【整備後の全景】



【外観】



【内観】



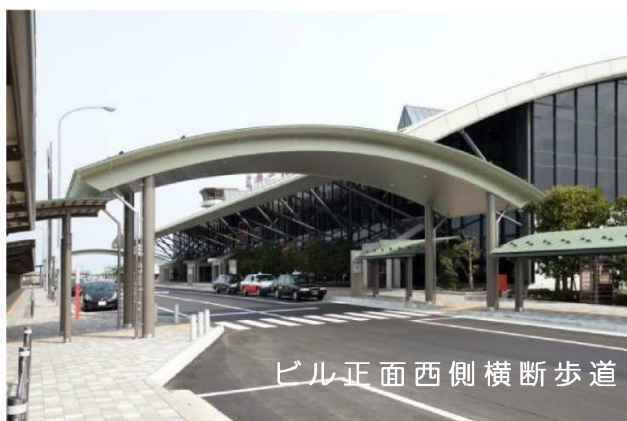
(ターミナルビル正面～西側)

- ・旅客ターミナルビルとの調和を考慮し、屋根材は鋼製とし色彩も同様にグリーン系とした。
- ・身障者用駐車場をターミナルビル東側に本工事と一体的に整備を行った。

【一般歩道用ルーフ】



【横断歩道用ルーフ】



【身障者用駐車場ルーフ】



出雲空港線・出雲空港穴道線の 植栽計画が決定しました

出雲空港線・出雲空港穴道線は「出雲縁結び空港」へのアクセス道路として整備され、島根県の空の玄関口となる道路です。

しかし、平成14年に暫定供用されてから10年近くが経過し、以前に整備した防草対策のソイルセメントが劣化・剥離して排水路等に流れ込み、近接農地に迷惑をかけるとともに、景観上も好ましくない状態となっていました。

そこで、県はできるだけ早急にこの状況を解消し、空の玄関口としてふさわしい計画を立て、整備を行っていくこととしました。

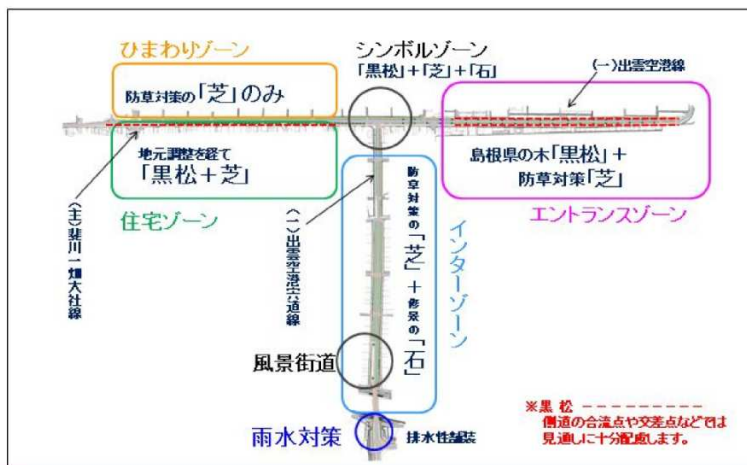
この計画を行うにあたっては、地元の方々との座談会や検討会を開催し、皆様の思いやご意見を伺いながら進めてきました。

特に、次の三つの道路特性を踏まえ、地元の方々に愛される計画となるよう考えました。

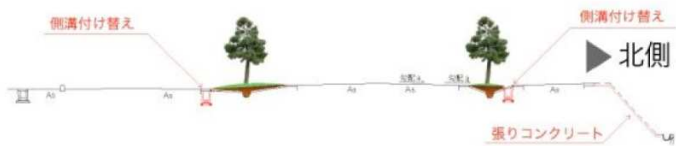
1. 地元のみなさまが毎日『見て・使う』道
2. 島根県の玄関口としてふさわしい道
3. 未来へいつまでも守り育てる道

この度、回を重ねてきた検討会の結果を踏まえ、計画がまとまりましたので、以下のとおりご紹介いたします。

今後、この計画に基づき平成23・24年度の2ヶ年で整備していく予定にしております。



計画するにあたっては、道路の利用特性から、それぞれゾーンに分けて行った。



側溝の付替と黒松(島根県の木)と芝(防草対策)を植栽

出雲空港線 計画断面図



出雲空港穴道線 計画断面図

芝(防草対策)と修景の石を配置



現況

エントランスゾーン



計画: エントランスとして島根県の木(黒松)でお出迎え



現況

インターゾーン



計画: 遠くの景色にもなじむよう「芝+修景の石」で広がり重視



現況

シンボルゾーン



計画: 和風庭園風「黒松+芝+石」で修景
出雲縁結び空港にちなみ「七五三」と縁起の良い配置に

「銀の道飛脚プロジェクトがスタート」

銀の道飛脚プロジェクトとは

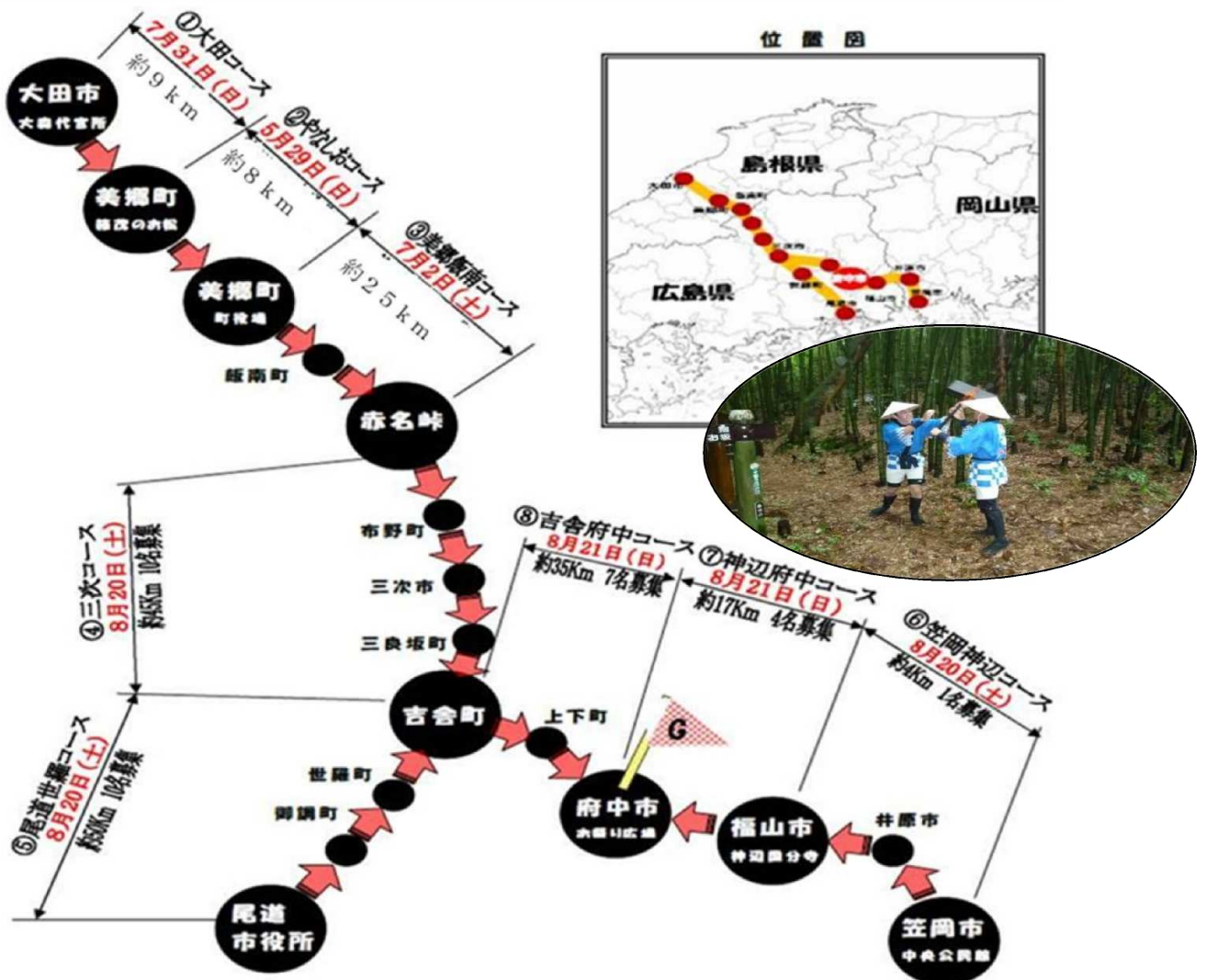
戦国時代後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎えた日本最大の銀山である石見銀山。この銀山で採れた銀を運んだのが銀山街道です。銀山街道は銀だけでなく様々な人やモノ、情報を運び、沿道の人々の歴史・文化を育んできました。

平成 22 年 11 月に中国横断道尾道松江線が尾道 JCT から世羅 IC まで供用開始されました。全線開通すれば松江市から尾道市までが結ばれ、新たな広域連携軸が形成されます。これは、新たな入り込み客を期待できる反面、通過者も増え逆に入り込み客が減少することも考えられます。

こうした背景から、沿線地域でスクラムを組み、「点から線」の活動を展開することとし、平成 23 年 8 月 21 日（日）に広島県府中市に於いて第 1 回銀の道フェスティバル in 府中市を開催することとなりました。

「銀の道飛脚プロジェクト」はこの一環として行われ、「飛脚」の衣装をまとったランナーが交代で街道を走り、東日本大震災の義援金（目録）をもって銀の道フェスティバルが開催される府中市を目指します。沿道に数多く存在する歴史・文化・自然を再発見し、人々の暖かい心をもつなぐプロジェクトです。

去る5月29日美郷町内でスタートし、法被とすげがさをつけたランナーが往時の面影を残すやなしお道を駆け抜けました。島根県内では7月2日に飯南町内を、7月31日に大田市内の街道を走る予定です。



出水期における道路の防災対策について

出水期とは、梅雨前線による集中豪雨や台風による被害が発生しやすい時期（6～10月）のことです。

この時期には道路における災害も頻発するため、その防止にむけて管理・連絡・保安体制の一層の強化をしていきます。

1. 道路パトロールの強化

降雨時及びその後においては、パトロール回数を増すなど、巡視・点検・監視の強化をします。危険防止のため必要なときは、通行規制など適切な対応を行います。

2. 災害・事故等への迅速な対応

連絡体制・非常時体制を強化し、被害状況や迂回路等の状況把握に努めます。人的被害や孤立集落の発生等社会的に影響の大きい災害や事故等は特に、迅速な対応に努めます。

3. 出水期間中の道路工事における安全対策

工事中の災害を防止するため、適切な施工管理を行い、安全対策及び監視に十分配慮するよう指導を行っています。

◆こんな時はご注意ください！！

局地的な大雨が発生した場合には、以下のような危険があります。

- ・路肩の決壊
- ・土砂崩れ
- ・路面の冠水

→特に、大雨時、アンダーパスにおいては、車が水没するほどの冠水の危険があります。

このような箇所には、注意看板を設置していますので、けっして進入しないでください。

また、異常気象時には不要な外出を控えましょう。



◎「しまね防災ポータル」に道路の規制情報を掲載しています。

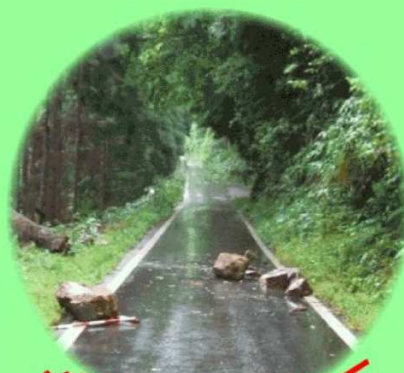
島根県トップページ → 防災・気象 → [しまね防災ポータル](#)



をクリック

何か異常に気づかれた場合は『道と川の相談ダイヤル』へお電話ください！

護岸の決壊



道路上の落石

舗装の陥没



道路や河川に関する情報・相談は…

道と川の 相談ダイヤル



までお電話ください！

「道と川の相談ダイヤル」一覧

地域	番号	事務所
松江市・東出雲町	0852-32-5200	松江県土整備事務所
安来市	0854-32-4149	広瀬土木事業所
雲南市・飯南町	0854-42-9601	雲南県土整備事務所
奥出雲町	0854-54-1251	仁多土木事業所
出雲市・斐川町	0853-30-5789	出雲県土整備事務所
川本町・美郷町・邑南町	0855-72-9630	県央県土整備事務所
大田市	0854-84-9720	大田事業所
江津市・浜田市	0855-29-5777	浜田県土整備事務所
益田市	0856-31-9655	益田県土整備事務所
津和野町・吉賀町	0856-72-0511	津和野土木事業所
隠岐の島町	08512-2-9737	隠岐支庁県土整備局
西ノ島町・海士町・知夫村	08514-7-9111	島前事業部

島根県

島根県では、路線番号が3桁の国道、県道、一級河川（大臣管理区間を除く）、二級河川、砂防・急傾斜施設を整備・管理しています。